

2016年度 受託研究事業内訳

受託事業

No.	事業名	相手方	受託額 円	事業内容	工期
1	「海を守る植樹教育事業」	公益財団法人 ブルーシー・アンド ・グリーンランド財団	1,587,600	植樹リーダー研修等の講師、4地域の現地調査及び植樹祭指導、6地域の植栽適正樹種調査及び植樹祭準備指導を行う	4月1日～ 3月31日
2	ポーラ美術館建設に伴う環境保全・植生復元に関する業務	公益財団法人 ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館	453,600	ヒノキ植林からブナ林への林相転換地を対象として、植栽された各種広葉樹ポット苗の生長調査及びその解析に基づき、当地域の潜在自然植生であるブナ林への転換過程を把握し、速やかな植生復元を図る	11月28日～ 12月31日
3	大槌町植樹マウンド評価業務	横浜ゴム株式会社	90,000	横浜ゴムが大槌町に寄贈した「いのちを守る森の防潮堤づくり」のモデルマウンドの成長評価を行う。	9月30日～ 3月31日
4	植生回復調査業務	DOWAメタルマイ ン株式会社	4,320,000	DOWAホールディングスの金属精製に伴う残滓堆積地について、環境保全機能を高く備えた、より豊かな緑環境を回復、再生するための植生生態学的現地調査および植栽地のモニタリングを実施する。	4月1日～ 3月31日
5	「あさひ・いのちの森」植生モニタリング調査業務	旭化成設計株式会社	1,825,200	「あさひ・いのちの森」において森林再生区の定置株植生調査及び毎木調査、間伐実験区植生調査及び毎木調査を実施し、想定された自然環境配慮型の緑地への推移を確認するとともに再生目標への誘導のための管理についての具体的な方法を提案する	6月16日～ 3月31日
6	小山湯船原工業団地における環境保全林植栽の為の調査・提案業務	静岡県企業局	3,812,400	小山湯船原工業団地の開発に際し、潜在自然植生を取り入れた緑化計画の立案を目的とし、同工業団地計画地及びその周辺域の現存植生を把握し、森林再生の基盤となる潜在自然植生推定の基礎資料とするもの。	9月30日～ 2017年 7月31日
7	植生回復調査業務	信州・志賀高原から始まる「いのちを守る森」づくり=ABM OR I 実行委員会 (長野県山ノ内村役場)	259,200	長野県山ノ内町志賀高原(笠岳周辺)において、植樹祭指導を行うとともに、植栽樹木及び土壌モニタリング調査、データ解析等(植栽樹種の検討)も併せて行う。	5月27日～ 7月8日
8	植生回復調査業務	東日本旅客鉄道株式会社	711,540	宮城県大崎市鳴子温泉において植生回復調査業務を行う。また、当地での植樹祭に係る樹種選定、植樹祭指導事前研修を行うものとする。	7月6日～ 10月31日
9	現地植生調査及び樹種選定に係る業務請負契約	イオンモール株式会社	750,000	鎮守の森をはじめとした近隣の自然植生残存エリアでの現地植生調査、土・樹種・その他に関連する指導を行う。また、新規出店にあたる樹種選定等を行い、専門的見地からの指導、助言を行う	6月3日～ 1月31日
10	足尾鉾山跡地における荒廃地植生再生・植生回復の技術習得研修	特定非営利活動法人 WE 2 1 ジャパン	100,000	フィリピン・ルボ村の住民・関係者が帰国後に適正かつ速やかに植林活動を実施できるよう、栃木県日光市足尾町における森林再生の知恵・技術や荒廃地修復の成功事例を学ぶことができるようプログラムを作成し、講義を行う。	7月8日～ 8月31日
受託事業計			13,909,540		

(参考) FY2016助成事業

No.	事業名	助成団体	助成決定額 円	備考
1	カンボジアにおける自生種の育苗と植樹活動	公益財団法人 イオン環境財団	2,000,000	2016年4月1日～2017年3月31日
2	海岸防災林植栽のための東海地方の海岸林植栽適性樹種調査	公益財団法人 イオン環境財団	1,300,000	2016年4月1日～2017年3月31日
助成事業計			3,300,000	

(参考) FY2017助成事業

No.	事業名	助成団体	助成決定額 円	備考
1	海岸防災林植栽のための東海地方の海岸林植栽適性樹種調査	公益財団法人 イオン環境財団	2,500,000	2017年4月1日～2018年3月31日
2	ラオス北部における生物多様性保全と持続可能な森林管理のための研究・教育プログラムの推進	公益信託 経団連自然保護基金	2,500,000	2017年4月1日～2018年3月31日
3	マレーシアおよびケニアにおける植生学的調査と森林保全	公益信託 経団連自然保護基金	4,700,000	2017年4月1日～2018年3月31日
助成事業計			9,700,000	